



信太の森ニュース

No. 27

2017年9月30日



9月の観察会は26名の参加があり、ムカゴニンジン、サワヒヨドリなどを観察しました。

この夏、九州をはじめ全国各地で集中豪雨による浸水、土砂崩れなど大きな被害が続出しました。大阪でも大雨洪水注意報が出た市町村もありましたが、そうした被害はなく、雨が欲しいと思っていた信太山丘陵では殆ど降ることはありませんでした。そのため惣ヶ池湿地では中央の池を除き二つの池が干上がってしまいました。9月に入りやっと纏まった雨が降り、干上がった池もやや回復したもののまだ平常には戻っていません。

お盆を過ぎた頃、大野池の水が退いているという話を聞き、久しぶりに行ってみました。

南側の池（桃池）は完全に水が抜かれ、水底にはアゼナ、アメリカネナシカズラ、ヒメオトギリ、ヒレタゴボウなど水辺の花が咲いていました。その奥の方ではコチドリの幼鳥が2羽、餌を探して動き回っていました。恐らく6月頃に孵ったものでしょう。

北側の池には既にミサゴ、イソシギがやってきていました。オオタカが飛ぶ様子も確認されており、11月ともなれば冬鳥のカモたちがやってくるので、野鳥好きな人にはこれから楽しみです。

NPO法人 信太の森FANクラブ

事務局：〒594-0013 大阪府和泉市鶴山台3丁目4番1-202

電話 0725-45-7357

E-mail tamahati@amber.plala.or.jp

環境教育授業実施

昨年秋から検討をすすめていた近隣小学校児童に対する環境教育事業の実施について、6月21日鶴山台北小学校3年生ニクラス（65名）を対象に実施しました。

実施に当たっては、事業推進メンバーにより下見をし、8グループ各班リーダー（指導員）並びに補助者5名を加えて事前にリハーサルを行い、万全を期して実施しました。



子どもたちは自然の素晴らしさを体感

内容は、惣ヶ池公園まで先生に引率していただき、8班3コースに別れ、くつつき虫がなぜくつつくのかルーペで見て貰い、くつつく仕組みからマジックテープが生まれたことやカミサンショウウオなど希少な生き物がいること、住んでいるすぐ近くにアケビなど自然の恵みがあることなど市有地内草原と惣ヶ池湿地を観察しながら身近に素晴らしい自然があることを紹介しました。

終了後の子ども達の感想のなかにアケビがあることに感動したことを発表してくれました。

上野森林公園観察会

メールと電話で呼び掛けた三重県上野森林公園のハッチョウトンボ観察会を7月16日（日）に実施しました。

これは会員の米田さんに企画していただき、呼び掛けた会員のうち参加希望者8名とその家族1名で行って来ました。

当日は少し風がありましたが、観察目的の

ハッチョウトンボはオス、メスともに見ることができ小さなトンボに感激しました。

カワラナデシコを除けば信太山丘陵にほぼ似ており、ミミカキグサやイシモチソウなども観察することができました。

管理棟の責任者に説明を受けたところ敷地は信太山丘陵市有地と惣ヶ池湿地を併せた約3倍（52ha）の敷地を指定管理者とボランティア団体で保全を行っているということでしたが、広い敷地を管理するのはなかなか大変なようでした。



上野森林公園の湿地とハッチョウトンボ



参加者感想

小学校前半の昭和20年代前半、「国破れて山河あり」私の自然の原点はここにある。

52haの公園を見学して初めてハッチョウトンボとサギソウ自生地（カキランも）を見た。昔はマツタケ山だったらしいから、一部は復活してほしい。里山公園の建設には普遍性と独自性があると思う。資料室で初めて見るクマタカは見事だった。（木村）

公園協議会総会行われる

6月17日に公園協議会の2017年度総会が開催され、島崎、田丸他数名が出席しました。

昨年度の事業実施報告として、管理棟等施設の配置や機能が検討されたこと、現地保全活動について年間10回実施し、延べ339名が参加したこと、里山講座では3回17名が修了し、自然観察会は惣ヶ池湿地でのカミサンショウウオ卵囊調査を兼ねた観察会を

含め2回開催され、延べ77名が参加したこと、更に、市有地草原の高木（数本）処理（業者委託）、カスミサンショウウオの産卵場所確保のための池掘り（3ヶ所：当クラブ、自然館クラブ、市職員で）が実施されたことが報告されました。

前年度報告の中では、当クラブが実施した生きもの観察記録のまとめ及び活動について報告しました。

今年度事業計画については、昨年度同様、企画運営会議、利用調整会議を通じて、公園整備の進め方などを検討し、現地活動、里山講座、自然観察会のほか当クラブが中心となった湿地モニタリング調査・維持管理手法の検討が挙げられています。

いよいよ来年度に都市計画決定が行われる予定ですが、今年度は公園整備計画において管理棟の機能、園路、トイレ、吾妻屋等の設置場所が最終的に決まる年となる見込みです。

利用調整会議、企画運営会議にはできるだけ参加していただき、整備計画についてみなさんの意見を出していただきたいと思います。

トラスト協会より感謝状

7月17日（財）大阪みどりのトラスト協会による「トラスト感謝祭」が大阪自然史博物館で開催されました。

はじめに「国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者の表彰の後、自然保全活動に貢献した団体・個人の表彰式が行われ、信太の森FANクラブも「惣ヶ池湿地の保全に取組まれ、カスミサンショウウオやシソクサの保全をはじめ信太山の自然公園化に向けた取組みと連携し環境学習の推進にも多大な貢献を」したとして感謝状をいただきました。

その後、大阪府立大学副学長でありトラスト協会の会長でもある石井実先生による「野生生物からみた大阪の自然」について講演が



ありました。チョウの話では、国蝶を決めるときにアゲハチョウとオオムラサキが候補に上がり、国民にいちばんよく認識されているアゲハチョウに決まるところでしたが、ミカンの害虫であることからオオムラサキに決まった話など興味深い話を聴くことができました。

シソクサ開花するも無残

昨年あわや絶滅寸前という惣ヶ池湿地のシソクサを土ごと自宅に持ち帰り、種が熟すのを待って確保した種をこの春に蒔きました。それとは別に、昨年シソクサ探しに協力していただいたM氏（シソクサ栽培経験者）に採取した種の一部を自宅栽培して貰い、1cmばかりに成長したものを7株移植しました。

現地に直蒔きしたシソクサは数本しか発芽しなかったのですが成長がよく、その内の1本が9月半ばに開花し、安堵したのも束の間、翌日には花が咲いた上部から2cmくらいを茎ごと誰かに摘み取られてしまいました。その数日後には、摘み取られた株に残った葉が全て摘み取られ、その株は無残にも丸坊主になってしまいました。

日照りが続いたこの夏、惣ヶ池湿地中央の池を除いて二つとも干上がりました。シソクサを植えた場所も土が乾燥し、シソクサへの



影響が心配されたため、会員の岩川さんが自宅からペットボトルで水を運び、毎日水やりを続けてくれました。そうしたご苦勞の結果シソクサは開花するまでになったのですが、心無い人によりシソクサは無残にも茎だけを残して丸裸にされてしまいました。

このままでは絶滅の恐れが強いため、繁殖するまで、開花期には防護柵の設置も考えなければならないかと思案しています。

信太山丘陵の危険な生きもの

私たちが観察会や保全活動で親しんでいる信太山丘陵ですが、そこには人にとって危険な生きものと希少種にとって危険な生きものがあります。

人にとって危険な生きものと言えば、マムシ、スズメバチ、毛虫がすぐ頭に浮かびますが、最近ではマダニ、ヒアリが頭に浮かぶ人がいるかも知れません。マダニはいるにしても、今のところマダニによる感染症例は和泉市内ではないそうです。ヒアリについても同様心配はないと思います。

マムシはこれまで惣ヶ池湿地及び市有地内ではないものと思っていました。ところが今シーズン、マムシと思われるものが3回確認されました。1回目は似ていたというだけで不明。2回目は轢死体でマムシに似ていますが、アオダイショウの幼蛇ということがわかりました。9月に入り、昔からマムシをよ

く知る会員により、惣ヶ池湿地内でどぐろを巻いたマムシが確認されました。

今後はマムシがいることを前提に行動した方がよさそうです。

次はスズメバチです。夏から秋にかけての観察会では注意を呼び掛けてきました。

9月24日の観察会では参加者のみなさんに「スズメバチ/リスク・マネジメント講習会」の話を米田さんに纏めていただいたプリントを参加者に渡し、注意を促して出発したのですが、学校でボランティア部の生徒と一緒にミツバチの研究をしておられる東先生がこの日スズメバチに足を刺されてしまい、毒抜き器で、毒を吸い出しましたが大事をとり自宅に帰っていただきました。

その後何事もなく済んだそうです。観察会は26名の参加があり、最後部を歩いていたの事故でした。先頭、中間集団は何事もなく、なぜさされたのか。多分それは黒いズボンが原因ではないかと思われます。黒い服やズボンだとクマと

思って攻撃してくるそうです。刺したハチが偵察バチだとすると近いところに巣があるのかも知れません。

最後に希少種にとって怖い存在の生き物があります。それはウシガエル。惣ヶ池湿地ではカスミサンショウウオが産卵しますが、そのオタマジヤクシは雑食性のウシガエルには好餌となります。今年は惣ヶ池湿地で成体2匹、湿地の池でウシガエルのオタマジヤクシをバケツ1杯分捕獲しました。約2,000匹はいたでしょうか。



お知らせ

11月18日(土) 19日(日)
大阪自然史フェスティバルに出展します。
当日、ブース当番(半日)のお手伝いできる方は事務局までご連絡下さい。